

数 学

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	数学 0 0 2－7 2 0 0 2－8 2 0 0 2－9 2	B 5 876	令和 6 年
4	大日本図書	大日本 ◆	数学 7 0 2 8 0 2 9 0 2	B 5 876	令和 2 年
11	学校図書	学 図 ◆	数学 0 1 1－7 2 0 1 1－8 2 0 1 1－9 2	B 5 928	令和 6 年
17	教育出版	教 出 ◆	数学 0 1 7－7 2 0 1 7－8 2 0 1 7－9 2	B 5 938	
61	新興出版社啓林館	啓林館 ◆	数学 0 6 1－7 2 0 6 1－8 2 0 6 1－9 2	B 5 822	
104	数研出版	数 研 ◆	数学 1 0 4－7 3 1 0 4－8 3 1 0 4－9 3	B 5 918	
116	日本文教出版	日 文 ◆	数学 1 1 6－7 2 1 1 6－8 2 1 1 6－9 2	B 5 896	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	生徒の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
	内容の取扱い等	①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。	①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付いた学習活動が示されているもの。
	構成上の工夫	①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。

中学部 数学(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者		東書	大日本
内容	四領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のページ数	634	660
	「例、例題」「問、問題(小問)」の問題数	4895	5360
	日常の事象や社会の事象を扱っている箇所数	69	91
	既習事項を再度取り上げている箇所数	36	35
	電卓やコンピュータ、情報通信ネットワークを扱っている箇所数	34	34
	発展的な内容を扱っている箇所数	17	22
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。	31箇所 ①1年「しきつめ模様をデザインしよう」では、模様の中にある図形を調べたり、合同な図形を敷き詰めて新しい模様を作ったりする活動がある。(P158)	25箇所 ①3年「ぴったり入る撮影位置はどこ？」では、撮影位置を変えながら、生徒全員が画面に入る位置を探す活動がある。(P193)
構成上の工夫	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、作業や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。	0箇所 ①該当なし。	1箇所 ①2年「さっさ立てに挑戦しよう」では、後ろ向きになって聞いた相手の声を元に、連立方程式を考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P207)
	本文の文字の大きさ	11ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 34文字×23行 3年最後 30文字×27行	1年最初 34文字×22行 3年最後 34文字×24行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	8ポイント
	ふりがな 障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	初出のみふりがながある ①2年「連立方程式の利用」では、解答に至る過程を示した横に、解決までの手順を文章で示している。(P51) ②公式や学習のポイント等を色付きの背景と太字で示している。(3年P30など)	初出のみふりがながある ①2年「特別な平行四辺形」では、四角形の分類をベン図で整理して示している。(P156) ②公式や学習のポイント等を色付きの枠囲みと太字で示している。(1年P139など)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

中学部 数学(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者		学図	教出
内容	四領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のページ数	727	710
	「例、例題」「問、問題(小問)」の問題数	5116	5128
	日常の事象や社会の事象を扱っている箇所数	80	87
	既習事項を再度取り上げている箇所数	44	137
	電卓やコンピュータ、情報通信ネットワークを扱っている箇所数	50	24
	発展的な内容を扱っている箇所数	23	19
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。	25箇所 ①2年「どんな図形ができるかな?」では、付せんを折ったときに、重なった部分がどのような図形になるかを調べる活動がある。(P148)	21箇所 ①1年「立体をなかま分けしてみよう!」では、身の回りにある立体を、底面や頂点に着目して分類する活動がある。(P214-215)
構成上の工夫	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、作業や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。	1箇所 ①1年「いろいろな数量の表し方」では、音が空中を伝わる速さを考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P74)	1箇所 ①1年「式の値」では、音が空中を伝わる速さを考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P83)
	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 34文字×19行 3年最後 33文字×29行	1年最初33文字×24行 3年最後37文字×24行
	欄外の文字の大きさ	8ポイント	8ポイント
	ふりがな 障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	初出のみふりがながある ①1年「90°の角の作図」では、作図の手順を、線の色や太さを変えて示している。(P180) ②公式や学習のポイント等を色付きの枠囲みと太字で示している。(3年P28など)	初出のみふりがながある ①2年「連立方程式とグラフ」では、身の回りの問題に対する問題解決の過程を示している。(P100-101) ②公式や学習のポイント等を色付きの背景と太字で示している。(3年P90など)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	なし

中学部 数学(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者		啓林館	数研
内 容	四領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のページ数	625	763
	「例、例題」「問、問題(小問)」の問題数	4278	4059
	日常の事象や社会の事象を扱っている箇所数	87	81
	既習事項を再度取り上げている箇所数	63	56
	電卓やコンピュータ、情報通信ネットワークを扱っている箇所数	39	13
	発展的な内容を扱っている箇所数	9	11
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。	19箇所 ①3年「三角形の相似条件と証明」では、2枚の折り紙を重ねたときにできる図形について、重ね方を変えて調べる活動がある。(P131)	15箇所 ①1年「作図」では、定規等を地図に当て、示された条件に合致する場所を探す活動がある。(P170)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、作業や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。	1箇所 ①2年「一次関数」では、雷や火花が光ってから音が聞こえるまでの時間を考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P64)	2箇所 ①1年「式の値」では、火花が光ってから音が聞こえるまでの時間を考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P75)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初27文字×25行 3年最後28文字×24行	1年最初25文字×20行 3年最後28文字×20行
	欄外の文字の大きさ	8.5ポイント	9ポイント
	ふりがな	初出のみふりがながある	初出のみふりがながある
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①1年「方程式とその解」では、等式の性質を天びんのイラストで示している。(P155) ②公式や学習のポイント等を色付きの背景と太字で示している。(3年P102など)	①3年「2次方程式の解の公式」では、平方根の考えを利用した解法の過程を示している。(P95) ②公式や学習のポイント等を色付きの枠囲みと太字で示している。(2年P83など)
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	なし

中学部 数学(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者		日文
内 容	四領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のページ数	64
	「例、例題」「問、問題(小問)」の問題数	4913
	日常の事象や社会の事象を扱っている箇所数	71
	既習事項を再度取り上げている箇所数	79
	電卓やコンピュータ、情報通信ネットワークを扱っている箇所数	27
	発展的な内容を扱っている箇所数	14
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。	20箇所 ①3年「どうすれば同じ形になるかな？」では、パソコンやタブレットを使い、写真を拡大したり縮小したりする活動がある。(P124)
構 成 上 の 工 夫	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、作業や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。	2箇所 ①2年「さっさ立て」では、後ろ向きになって聞いた相手の声を元に、連立方程式を用いて解を求める活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P208)
	本文の文字の大きさ	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初25文字×18行 3年最後28文字×25行
	欄外の文字の大きさ	8.5ポイント
	ふりがな 障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	初出のみふりがながある ①1年「平面図形」では、定規とコンパスを使った正六角形のかき方を、順を追って示している。(P169) ②公式や学習のポイント等を色付きの背景と枠囲み、太字で示している。(3年P133など)
参 考	防災や自然災害の扱い	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし

中学部 数学(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者		東 書	大日本
内 容	四領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のページ数	634	660
	「例、例題」「問、問題(小問)」の問題数	4895	5360
	日常の事象や社会の事象を扱っている箇所数	69	91
	既習事項を再度取り上げている箇所数	36	35
	電卓やコンピュータ、情報通信ネットワークを扱っている箇所数	34	34
	発展的な内容を扱っている箇所数	17	22
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付いた学習活動が示されているもの。	145箇所 ①1年「起こりやすさの表し方」では、ペットボトルのふたを投げ、表向きと裏向きになる回数を調べる活動があるが、生徒が取扱いやすい物に変更することで取り組むことができる。(P242) ②2年「飲み物はいつまで冷たく保てる？」では、保冷バッグに入れた飲み物の温度の変化の様子を調べ、その後の温度の変化を予測する学習を示している。(P83)	201箇所 ①2年「確率」では、さいころを投げて確率を予想する活動があるが、裏に1から6までの数字を書かれたカードを選ぶ活動に変更することなどで取り組むことができる。(P182-183) ②1年「アイスクリームの体積を比べよう」では、二つのアイスクリームの量の違いを、体積に注目して調べて比較する学習を示している。(P231-232)
構 成 上 の 工 夫	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	13箇所 ①1年「空間図形」では、巻末の付録の厚紙をミシン目で切り離して立体を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P195)	12箇所 ①3年「因数分解」では、巻末の付録の厚紙をミシン目で切り離して長方形を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P26)
	本文の文字の大きさ	11ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 34文字×23行 3年最後 30文字×27行	1年最初 34文字×22行 3年最後 34文字×24行
構 成 上 の 工 夫	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	8ポイント
	ふりがな	初出のみふりがながある	初出のみふりがながある
	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①1年「方程式とその解」では、等式の性質を太字と枠囲みで示している。(P96) ②2年「スタート地点を決めよう」では、陸上のトラックはコースごとに周長が異なることをイラストを用いて説明している。(P27)	①1年「量の変化と比例、反比例」では、 $y=ax$ のグラフの特徴について太字と枠囲みで示している。(P139) ②3年「関数」では、放物線について投げたボールの軌跡を写真を用いて説明している。(P112)
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

中学部 数学(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者		学 図	教 出
内 容	四領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のページ数	727	710
	「例、例題」「問、問題(小問)」の問題数	5116	5128
	日常の事象や社会の事象を扱っている箇所数	80	87
	既習事項を再度取り上げている箇所数	44	137
	電卓やコンピュータ、情報通信ネットワークを扱っている箇所数	50	24
	発展的な内容を扱っている箇所数	23	19
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付いた学習活動が示されているもの。	112箇所 ①1年「2つの数量の関係は？」では、天びんにクリップや硬貨を乗せ重さを比べる活動があるが、生徒が取扱いやすい物に変更することで取り組むことができる。(P96-97) ②2年「1次関数」では、列車の運行の様子が分かるダイヤグラムから、列車の駅の通過時刻や追い越す時刻を考える学習を示している。(P105)	136箇所 ①2年「いろいろな確率」では、くじを引く際の当たりの出やすさを比べる活動があるが、くじに持ち手を付けるなど生徒が取扱いやすくすることで取り組むことができる。(P195) ②1年「比例と反比例の利用」では、電子レンジの出力数からお弁当を温める時間を求める学習を示している。(P167)
構 成 上 の 工 夫	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	9箇所 ①1年「空間図形」では、巻末の付録の厚紙をミシン目で切り離して立体を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P233)	10箇所 ①1年「いろいろな立体」では、巻末の付録の厚紙をミシン目で切り離して正多面体を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P218)
	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 34文字×19行 3年最後 33文字×29行	1年最初33文字×24行 3年最後37文字×24行
	欄外の文字の大きさ	8ポイント	8ポイント
参 考	ふりがな 障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	初出のみふりがながある ①1年「1次方程式」では、等式の性質を太字と枠囲みで示している。(P105) ②2年「1次関数」では、標高による気温の違いについてイラストを用いて説明している。(P70-71)	初出のみふりがながある ①2年「三角形」では、証明の見通しの立て方のポイントと流れを枠囲みで示している。(P158) ②1年「平面図形」では、作図で使用する道具の用途について写真を用いて説明している。(P185)
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	なし

中学部 数学(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者		啓林館	数 研
内 容	四領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のページ数	625	763
	「例、例題」「問、問題(小問)」の問題数	4278	4059
	日常の事象や社会の事象を扱っている箇所数	87	81
	既習事項を再度取り上げている箇所数	63	56
	電卓やコンピュータ、情報通信ネットワークを扱っている箇所数	39	13
	発展的な内容を扱っている箇所数	9	11
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付いた学習活動が示されているもの。	117箇所 ①1年「必要なマグネットの個数はいくつ？」では、画用紙を黒板に磁石でとめていく活動があるが、生徒が取り扱いやすい大きさの磁石に変更することで取り組むことができる。(P58-60) ②2年「一次関数とグラフ」では、水槽に水を入れる時の水面の高さを一次関数を使って求める学習を示している。(P61)	104箇所 ①3年「2乗に比例する関数」では、斜面に球を転がし、経過した時間と転がった距離を調べる活動があるが、生徒が取り扱いやすい大きさの球に変更することで取り組むことができる。(P110-111) ②2年「確率」では、当たりくじの数が異なる二つの屋台について、当たりが出る確率を求め比較する学習を示している。(P196)
構 成 上 の 工 夫	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	4箇所 ①1年「移動と作図」では、折り紙を折り、折った折り紙からはさみで形を切り抜く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P155)	4箇所 ①3年「因数分解」では、巻末の付録の厚紙をミシン目で切り離して長方形を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P25)
	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初27文字×25行 3年最後28文字×24行	1年最初25文字×20行 3年最後28文字×20行
構 成 上 の 工 夫	欄外の文字の大きさ	8.5ポイント	9ポイント
	ふりがな	初出のみふりがながある	初出のみふりがながある
	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①2年「直角三角形の合同条件」では、学習のポイントを太字と枠囲みで示している。(P142) ②3年「関数 $y=ax^2$ 」では、放物線について投げたボールの軌跡の写真を用いて説明している。(P104)	①2年「四角形」では、平行四辺形の性質を枠囲みで示している。(P161) ②1年「空間図形」では、ねじれの位置について、立体交差の写真を用いて説明している。(P197)
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	なし

中学部 数学(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者		日 文
内 容	四領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のページ数	64
	「例、例題」「問、問題(小問)」の問題数	4913
	日常の事象や社会の事象を扱っている箇所数	71
	既習事項を再度取り上げている箇所数	79
	電卓やコンピュータ、情報通信ネットワークを扱っている箇所数	27
	発展的な内容を扱っている箇所数	14
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付いた学習活動が示されているもの。	97箇所 ①3年「いろいろな関数」では、はさみで紙を2等分に切り、切った回数と紙の枚数を比べる活動があるが、スライド式のペーパーカッターなどを用いることで取り組むことができる。(P118) ②3年「相似な図形の面積比と体積比の活用」では、ピザのサイズと金額との関係を調べる学習を示している。(P155)
構 成 上 の 工 夫	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	4箇所 ①1年「多面体」では、巻末の付録の厚紙をミシン目で切り離して正多面体を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P191)
	本文の文字の大きさ	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初25文字×18行 3年最後28文字×25行
	欄外の文字の大きさ	8.5ポイント
	ふりがな 障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	初出のみふりがながある ①2年「場合の数と確率」では、確率の求め方を太字と枠囲みで示している。(P171) ②1年「図形の移動」では、図形が移動する様子をイラストを用いて説明している。(P162)
参 考	防災や自然災害の扱い	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし